



グループ内で英語で会話(中台中・2年)



アドバイスも英語で(中台中・3年)



ジョン先生と英語でじゃんけん(津富浦小・2年)

成田市の英語教育

自分の言葉で思いを伝える

市では、文部科学省から「教育課程特例校」の認定を受け、小学1年生から市独自のカリキュラムで英語教育を行っています。

全ての市立学校に ALTを配置

市では、全ての市立学校に外国人英語講師(ALT)を配置し、小学1年生から英語の授業を行っています。ALTは、学級担任や英語の担当教員と共に授業を行います。

児童・生徒は、ALTの話す英語を直接聞くことにより、自然な英語の発音やリズムに慣れ親しむことができます。また、外国人と接することに慣れることで、物おじせず英語で意思を伝えようとするようになります。

教育課程特例校として 市独自のカリキュラム

全国の多くの小学校では、英語の授業が5年生から始まりますが、本市では1年生から始まります。小学校では、歌やゲームのほか、

買い物やレストランでの会話など、実際の場面を設定したコミュニケーションシヨンを活動を通して、楽しく英語を学んだり、異文化に親しんだりしています。

中学校では、コミュニケーション能力の基礎を養うために標準の授業時間数を拡大させ、市独自の指導案に基づいた「聞く・話す」を中心とした授業を行っています。なお、本年4月に開校した義務教育学校・下総みどり学園でも、同様の英語教育が進められています。

多くの児童・生徒が 英語が好き

市内の児童・生徒を対象に実施した平成28年度アンケートによると、「あなたは英語の学習は好きですか」という質問に、小学生(義務教育学校は1~6年生)の約93パーセント、中学生(義務教育

学校は7~9年生の約75パーセントが「好きだ」または「どちらかというが好きだ」と答えました。また、ALTとの1対1の英会話では、約90パーセントの児童・生徒が英語で会話できました。

市では今後も、児童・生徒の「間違いを恐れずに英語でコミュニケーションを育み、国際都市成田の未来を担うことのできる人材の育成を目指し、英語教育の歩みを進めていきます。

※くわしくは教育指導課(☎20・1582)へ。



イラストを見て英語で答えよう(前林小・1年)